

# 製品クレーム等に関する試験

品質管理

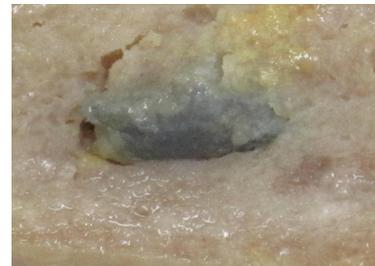
## 支援の背景

近年の安心・安全への意識の高まりから、製造者へのクレームが増加しています。製造者も細心の注意を払って製造を行っていますが、異物混入等の事故を完全に防ぐことは困難です。そのため、製品クレームには迅速で誠意ある対応が不可欠です。当センターでは、顕微鏡観察やX線回折を用いた分析などで支援を行いました。

## 支援内容

### ①肉加工品中の異物

肉加工品に灰色の異物が埋め込まれた状態で見つかりました。赤外分析、EPMA分析によりFRP製品であることが確認でき、お客様へ説明することが出来ました。



### ②カビに見える結晶 I

原料検査で、香辛料の表面にカビ様の白色物が見つかりました。実の内部にも同様の結晶があり、赤外分析によるスペクトルパターンが一致したことから、カビではなく実の結晶が表面に析出したと推察しました。



### ③カビに見える結晶 II

調味料の表面にカビ様の白色物質が出てきました。X線回折、顕微鏡観察から原料の塩が再析出したことがわかりました。迅速な対応により取引先にも安心していただきました。



### ④海草中の異物

バルクとして出荷している海草から、異物のクレーム。新聞紙の破片やヨコエビなどが見つかりました。工程の見直しにつながりました。



### ⑤微生物の増加

香辛料中の微生物数が急に増加し、一部ロットの納入が出来ませんでした。温度測定により乾燥機の温度ムラにより微生物数が増加したことが判明。工程改善により取引先との関係強化につながりました。

